

Acute Care Surgeon

外科医からその先へ

Acute Care Surgery (ACS)とは
外傷外科、救急外科、集中治療管理の3つの分野から
成り立つ領域です。集中治療が必要なショック症例に対して
ダメージコントロールを主とした初回手術を行い
術後は自らICUでの集中治療を行い、全身状態に合わせ
根治手術を行う、このような、手術のスキルのみならず
一連の総合的な診療力が必要とされるのが
Acute Care Surgeonです。

泉州救命では、約1000例/年の手術をセンター医師自らが執刀し
その約3割がACS領域(体幹部外傷や内因性急性腹症など)です。
また、血管内治療(IVR)や四肢開放骨折、骨盤骨折に対する
創外固定術など、多岐にわたる外傷診療技術も身につける事が出来ます。

1分1秒を争う超緊急手術、その後に自らおこなう
きめ細かな集中治療、救命という同じ目標のために展開される
究極のチーム医療。
そんなアドレナリン出っぱなしの泉州救命で働きませんか？

 大阪府泉州救命救急センター
SENSHU TRAUMA AND CRITICAL CARE CENTER

お問い合わせ ✉ rinkudrs-concierge@rgmc.izumisano.osaka.jp

泉州救命救急センター